

新型コロナウイルス感染症対策本部（第58回）

日時：令和3年3月18日（木）

17時30分～17時50分

場所：官邸2階 大ホール

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症への対応について

3. 閉 会

（配布資料）

- 資料1 厚生労働省提出資料
- 資料2 基本的対処方針等諮問委員会会長提出資料
- 資料3 新型コロナウイルス感染症緊急事態の終了
- 資料4-1 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（案）
- 資料4-2 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更案（新旧対照表）
- 資料5-1 「緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応」（概要）
- 資料5-2 「緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応」（案）
- 資料6 「緊急事態宣言解除後の経済支援策の全体像」
- 資料7 内閣官房（副長官補室）提出資料

最近の感染状況等について

令和3年3月18日(木)

厚生労働省

新型コロナウイルス感染症の発生状況

【国内事例】括弧内は前日比

※令和3年3月17日24時時点

	PCR検査 実施人数(※3)	陽性者数	入院治療等を要する者		退院又は療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中(※4)
			うち重症者				
国内事例(※1,※5) (チャーター便帰国 者を除く)	8,578,528 (+84,919)	448,868 (+1,522)※2	12,217 (+253)	325 (-10) ※6	427,650 (+1,111)	8,715 (+39)	644 (-92)
空港・海港検疫	557,940 (+2,225) ※7	2,303 (+14)	68 (+10)	0	2,233 (+4)	2	0
チャーター便 帰国者事例	829	15	0	0	15	0	0
合計	9,137,297 (+87,144)	451,186 (+1,536)※2	12,285 (+263)	325 (-10) ※6	429,898 (+1,115)	8,717 (+39)	644 (-92)

- ※1 チャーター便を除く国内事例については、令和2年5月8日公表分から（退院者及び死亡者については令和2年4月21日公表分から）、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 新規陽性者数は、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数（再陽性例を含む）を積み上げて算出したものであり、前日の総数からの増減とは異なる場合がある。
- ※3 一部自治体については件数を計上しているが、実際の人数より過大となっている。件数ベースでウェブ掲載している自治体については、前日比の算出にあたって件数ベースの差分としている。前日の検査実施人数が確認できない場合については最終公表時点の数値との差分を計上している。
- ※4 PCR検査陽性者数から入院治療等を要する者の数、退院又は療養解除となった者の数、死亡者の数を減じて厚生労働省において算出したもの。なお、療養解除後に再入院した者を陽性者数として改めて計上していない県があるため、合計は一致しない。
- ※5 国内事例には、空港・海港検疫にて陽性が確認された事例を国内事例としても公表している自治体の当該事例数は含まれていない。
- ※6 一部の都道府県における重症者数については、都府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※7 令和2年7月29日から順次、抗原定量検査を実施しているため、同検査の件数を含む。なお、空港・海港検疫の検査実施人数等については、公表日の前日の0時時点で計上している。

【上陸前事例】括弧内は前日比

	PCR検査陽性者 ※【 】は無症状病原体保有者数	退院等している者	人工呼吸器又は集中治療室 に入院している者 ※4	死亡者
クルーズ船事例 (水際対策で確認) (3,711人) ※1	712 ※2 【331】	659 ※3	0 ※6	13 ※5

- ※1 那覇港出港時点の人数。うち日本国籍の者1,341人
- ※2 船会社の治療スタッフとして途中乗船し、PCR陽性となった1名は含めず、チャーター便で帰国した40名を含む。国内事例同様入院後に有症状となった者は無症状病原体保有者数から除いている。
- ※3 退院している者659名のうち有症状364名、無症状295名。チャーター便で帰国した者を除く。
- ※4 37名が重症から軽〜中等症へ改善（うち37名は退院）
- ※5 この他にチャーター便で帰国後、令和2年3月1日に死亡したオーストラリア政府が発表した1名がいる。
- ※6 新型コロナウイルス関連疾患が軽快後、他疾患により重症の者が1名いる。

即日県別増加削減率は自叙(報告口加) (三桁係数、ア・ブ・シーは、シロ・ハ・ニを加えて読む)

報告日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	直近2週間の合計		増減率 (人口10万対)	全期間の 合計	全 国		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	3月4日から 3月10日まで	3月11日から 3月17日まで					
全 国	1,168	1,145	1,045	1,061	599	1,125	1,312	1,316	1,268	1,316	984	688	1,131	1,522	15,680	7,455	8,225	1.10	449,161	全 国	
北海道	66	64	47	84	63	63	65	71	53	58	45	54	69	73	875	452	423	0.94	20,088	北海道	
青 森	1	2	0	0	0	2	6	8	8	8	7	4	4	4	64	11	53	4.82	881	青 森	
岩 手	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3	3	1	0	6	17	1	16	16.00	571	岩 手	
宮 城	22	22	34	32	29	35	36	53	49	55	49	20	69	107	612	210	402	1.91	4,292	宮 城	
秋 田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	3	0.31	272	秋 田	
山 形	0	0	0	0	1	1	0	8	0	0	1	3	4	4	22	2	20	10.00	1,866	山 形	
福 島	34	19	11	24	10	16	23	16	9	14	15	6	7	23	227	137	90	0.66	4,888	福 島	
茨 城	37	44	28	21	22	26	33	36	43	17	18	10	25	40	400	211	189	0.90	6,265	茨 城	
栃 木	11	14	12	9	6	22	13	17	18	18	24	4	17	30	215	87	128	1.47	4,336	栃 木	
群 馬	21	12	17	6	10	6	16	11	20	19	10	12	10	27	197	88	109	1.24	5,611	群 馬	
埼 玉	123	90	114	123	65	106	135	126	155	183	77	72	96	132	1,597	756	841	1.11	31,235	埼 玉	
千 葉	107	137	108	113	73	82	106	122	105	129	106	76	76	91	1,431	726	705	0.97	11,226	千 葉	
東 京	279	301	293	237	116	290	340	335	304	330	239	175	300	409	3,948	1,856	2,092	1.13	116,289	東 京	
神 奈 川	138	131	113	119	59	100	124	125	107	95	109	55	91	93	1,459	784	675	0.86	7,344	神 奈 川	
新 潟	3	10	5	7	7	15	13	10	12	6	2	6	8	18	122	60	62	1.03	1,218	新 潟	
富 山	2	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	10	4	6	1.50	919	富 山	
石 川	3	3	1	0	0	2	0	0	0	4	3	0	1	0	17	9	8	0.89	1,891	石 川	
福 井	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	3	3.00	549	福 井	
山 梨	0	0	0	0	0	0	0	5	2	2	1	2	1	14	0	0	14	1.73	961	山 梨	
長 野	0	4	1	5	0	5	6	4	10	8	10	14	8	25	100	21	79	3.76	2,465	長 野	
岐 阜	5	6	9	3	0	6	3	1	3	4	2	0	5	8	55	32	23	0.72	4,699	岐 阜	
静 岡	9	23	9	24	12	14	50	27	17	18	5	8	25	9	250	141	109	0.77	5,445	静 岡	
愛 知	68	50	35	27	8	39	44	66	52	55	24	15	30	48	561	271	290	1.07	36,570	愛 知	
三 重	4	5	10	2	1	3	9	8	6	5	8	2	4	6	73	34	39	1.15	2,618	三 重	
滋 賀	26	14	8	13	13	32	8	13	10	3	5	3	11	6	165	114	51	0.45	3,611	滋 賀	
京 都	3	7	9	12	13	9	27	17	7	10	6	6	9	14	149	80	69	0.86	9,232	京 都	
大 阪	81	74	82	76	38	103	84	88	111	120	92	67	86	147	1,249	538	711	1.32	80,732	大 阪	
兵 庫	21	36	15	41	9	41	41	58	49	54	38	33	78	74	588	204	384	1.88	18,680	兵 庫	
森 良	5	11	7	7	5	5	13	5	11	5	5	3	11	15	108	53	55	1.04	3,415	森 良	
和 歌 山	2	1	0	0	0	1	2	1	1	0	6	1	3	5	23	6	17	2.83	1,190	和 歌 山	
鳥 取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	211	鳥 取	
島 根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.15	286	島 根	
岡 山	10	3	9	5	3	10	16	11	8	6	2	4	5	2	94	56	38	0.68	2,590	岡 山	
広 島	2	2	5	2	7	3	1	1	1	2	3	2	1	2	34	22	12	0.55	4,073	広 島	
山 口	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	10	4	6	1.50	1,396	山 口	
徳 島	4	3	1	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	11	8	3	0.38	464	徳 島	
香 川	1	1	1	2	1	2	2	2	0	1	0	0	1	3	17	10	7	0.70	769	香 川	
愛 媛	0	1	0	0	0	1	1	2	3	0	1	0	0	2	11	3	8	2.67	1,078	愛 媛	
高 知	9	5	1	1	0	1	1	1	2	0	1	0	0	1	23	18	5	0.28	910	高 知	
福 岡	37	25	29	34	15	34	49	31	43	41	38	13	28	42	459	223	236	1.06	18,603	福 岡	
佐 賀	3	5	1	12	4	20	12	5	6	3	4	0	2	4	81	57	24	0.42	2,944	佐 賀	
長 崎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1.00	1,614	長 崎	
熊 本	2	5	2	0	0	5	5	0	2	5	0	0	0	7	33	19	14	0.74	3,480	熊 本	
大 分	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	2	2	1.00	1,299	大 分	
宮 崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	1,949	宮 崎	
鹿 児 島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	0	3	-	0.19	1,765	鹿 児 島
沖 縄	28	13	27	18	7	22	28	29	38	30	23	16	28	35	342	143	199	1.39	8,579	沖 縄	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	149	その他	

※1 西暦分の報告が未開用については、報告日別に過去に遡って計上した

※2 その他は、長崎県のクルーズ船における属性別

※3 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都府県別推計人口(総務省)に約算している

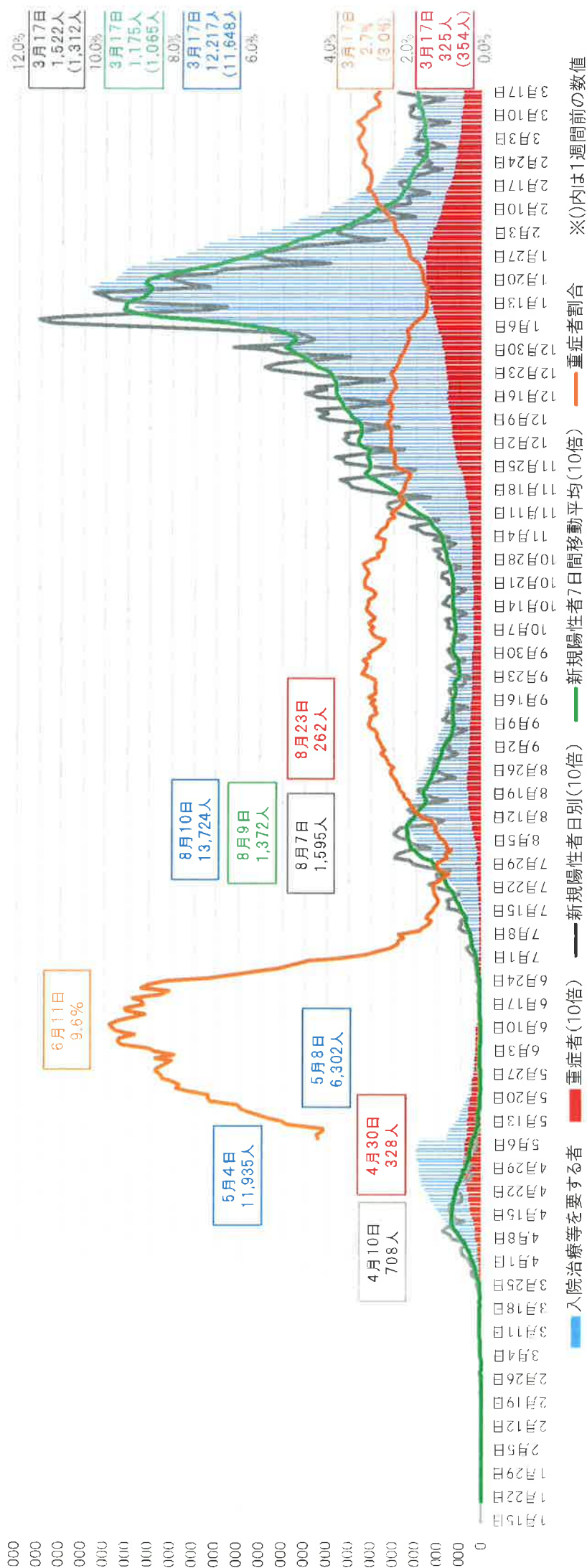
※4 出典: 国勢調査(平成27年)国勢調査結果速報(平成27年10月1日現在) 報告口加

増減率が1より 大きく、直近1週 間任意者数ゼロの都 府県が1以上 道府県数	18
直近2週間の新規 増減率	2

入院治療等を要する者・重症者・新規陽性者数等の推移

入院治療等を要する者・重症者・新規陽性者（人）

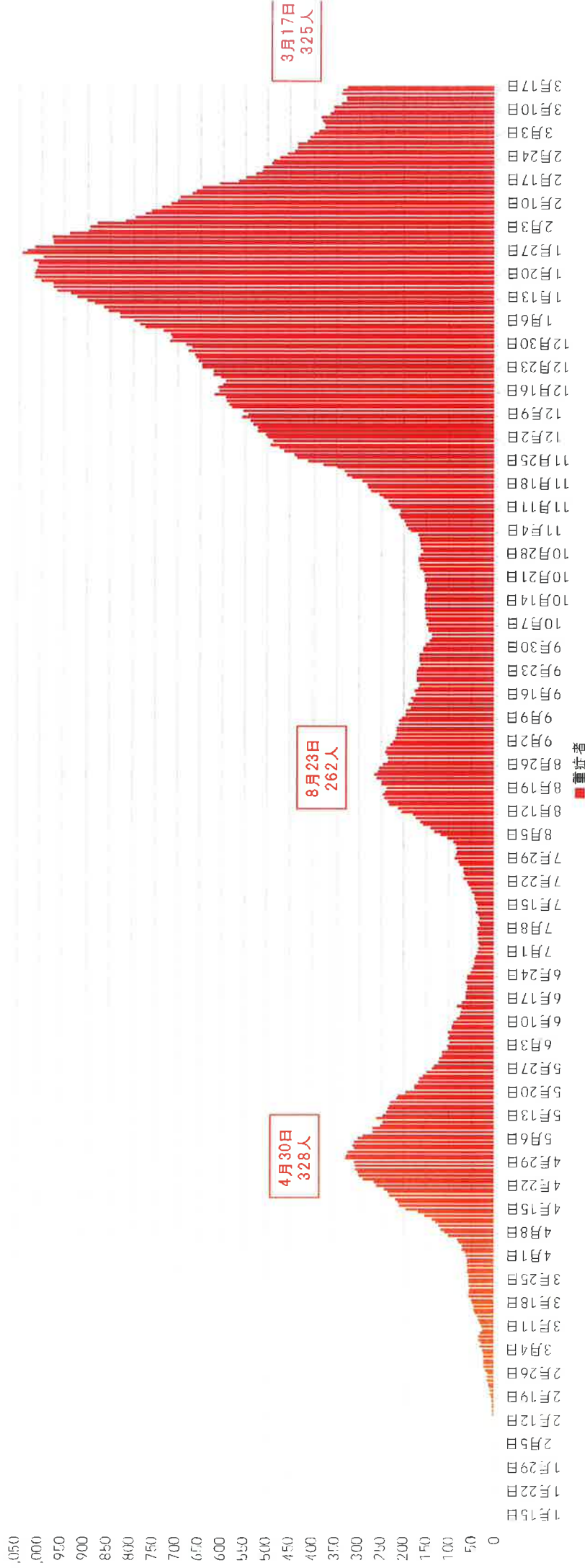
重症者割合（％）



- ※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 重症者割合は、集計方法を変更した令和2年5月8日から算出している。重症者割合は「入院治療等を要する者」に占める重症者の割合。
- ※3 入院治療等を要する者・重症者・新規陽性者は表示上のスケールが異なるので（新規陽性者及び重症者数は10倍に拡大して表示）、比較の場合には留意が必要。
- ※4 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。

重症者の推移

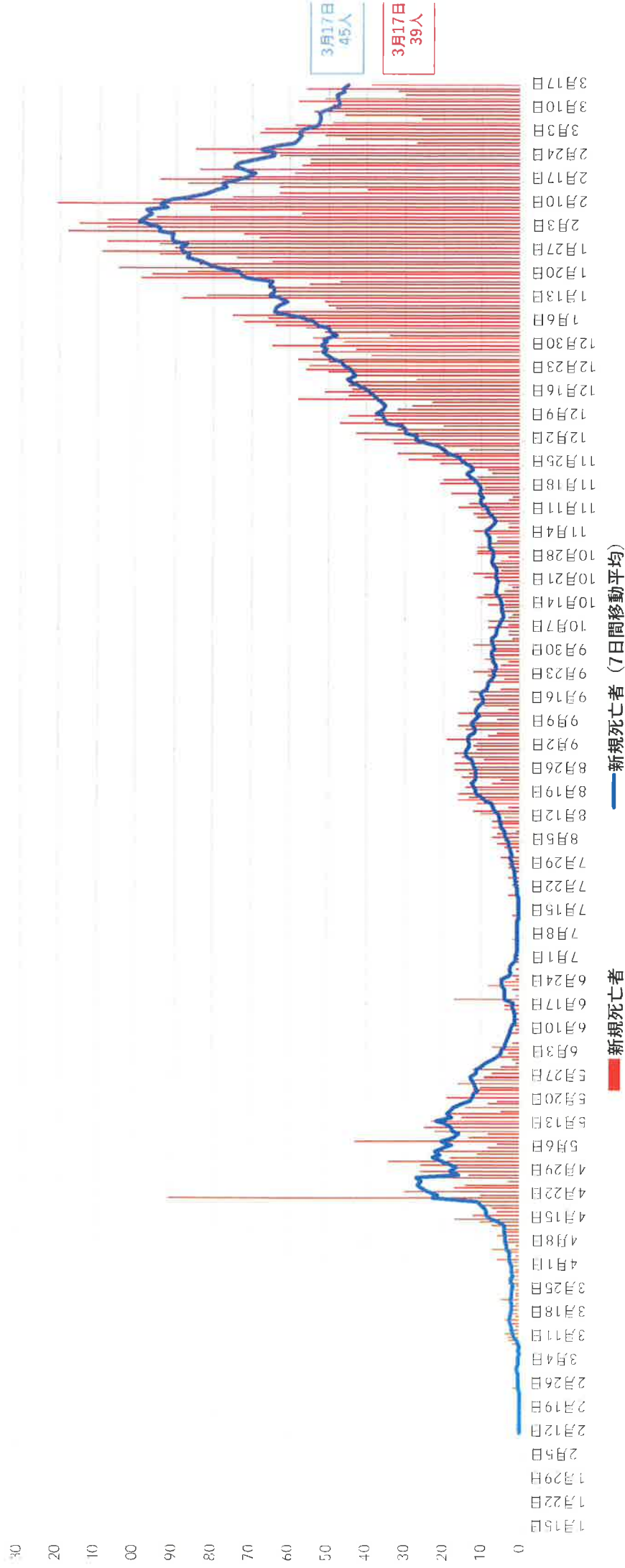
重症者（人）



※1 チャーター一便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

※2 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。

新規死亡者の推移



※ チャーター便を除く国内事例。令和2年4月21日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

<感染状況について>

- ・ 全国の新規感染者数は、報告日ベースでは、1月中旬以降（発症日ベースでは、1月上旬以降）減少が継続していたが、3月上旬以降横ばいから微増が続く、直近の1週間では10万人あたり約6人となり、リバウンドを起さず、改めて減少傾向としていくことが必要。

実効再生産数：全国的には、1月上旬以降1を下回っていたが、直近では、1.04となっている（2月28日時点）。1都3県、愛知・岐阜では1を下回っているが、大阪・兵庫・京都、福岡では1を上回る水準となっている。（2月28日時点）

【地域の動向】※新規感染者数の数値は、報告日ベースの直近1週間合計の対人口10万人の値

- ①首都圏（1都3県） 東京、神奈川、埼玉、千葉の新規感染者数はそれぞれ、約15人、約8人、約11人、約12人とステージⅢの指標となっている15人を下回っているが、他地域と比べても高い水準で、東京と埼玉では増加の動きが見られる。一方で医療提供体制は、これまでの新規感染者数、療養者数の減少に伴い、自治体での入院等の調整も改善もステージⅣの指標を継続的に下回るなど負荷の軽減が見られる。
- ②関西圏・中京圏・九州（6府県） 緊急事態宣言の解除から2週間が経過。いずれも、これまでの新規感染者数、療養者数の減少に伴い医療提供体制への負荷の軽減が見られる。新規感染者数は、大阪、兵庫を除き各府県とも5人を下回る水準となっている。大阪、兵庫、京都、福岡では、3月上旬以降横ばいから微増となっている。緊急事態措置の解除と前後して、夜間の人流が増加しており、愛知、大阪、京都では若年層の感染の水準が高くなっている。また、関西圏では変異株の報告が増加している。
- ③上記以外の地域 一部の地域でクラスターが発生するなど再上昇の動きも増加している。特に、宮城、沖縄では、新規感染者数はそれぞれ、約14人、約13人と増加が続いている。

【変異株】

- ・ 英国、南アフリカ等で確認されその影響が懸念されるN501Yの変異のある変異株（VOC）は、現状より急速に拡大するリスクが高い。変異株に対して自治体による積極的疫学調査が行われる中で、変異株の感染者とクラスター報告数の増加傾向が見られる。

<感染状況の分析>

- ・ 緊急事態措置区域の1都3県では、市民や事業者の長期間にわたる協力により新規感染者の減少が続いていたが、3月上旬以降、他地域と比べても高い水準で横ばいから微増。首都圏では、感染者数も多く、匿名性も高いため、感染源やクラスターの発生場所の多様化がみられ、不明な例も多い。年齢別に見ると、若年層の割合が高くなっており、人流の再上昇の動きも見られている。近畿圏含め、都市部では、既にリバウンドが生じ始めているのではないかと指摘もある。
- ・ 宮城、沖縄では、20代、30代を中心とした感染拡大が見られているため、今後の推移に留意が必要。
- ・ クラスターは、医療機関と高齢者施設での発生が継続し、地域により飲食店でも引き続き発生している。また、カラオケに関連するクラスターも発生。
- ・ 変異株の感染が継続している中で、感染を再拡大させないための取組が必要。今後流行するウイルスは変異株に置き換わっていく可能性もあり、さらなる流行拡大につながるおそれに留意が必要。

＜必要な対策＞

- 感染のリバウンドの兆候をできる限り迅速に検知する方法を早急に構築し、対策につなげることにより新規感染者数の増加を抑え、医療提供体制を維持し、ワクチンを安定して接種できる体制の確保、また、変異株拡大等のリスクを低減させるための体制の確保が重要。
- そうした中で、緊急事態宣言の解除がリバウンドを誘発することへの懸念に留意が必要である。特に、首都圏では、感染者数が多く、感染が継続した場合の他地域への影響も大きい。感染の再拡大を防ぐためには、新たな感染者をできるだけ低い水準で長く維持することが必要である。そのため、地域の感染状況等に応じ、積極的疫学調査（感染源が不明であっても、リスク行動の有無にも着目することも重要）に基づく情報・評価を踏まえた対応など、さらに感染を減少させるために必要な取組を行っていくことが必要。既に緊急事態措置が解除された地域も同様の取組が必要。
- 感染を減少させるための取組に協力が必要なことについて、国、自治体が一致したメッセージを出していくことが必要。
- 会食における感染リスクを低減させるために、事業者の取組とともに、利用者の会食のあり方を周知することが重要。
- また、年度末から年度初めの恒例行事（卒業式、歓送迎会、お花見）などに伴う宴会・旅行はなるべく避けていただくように、改めて、効果的なメッセージの発信が必要。また、年度初めに関しては、入社や入学の際に、人の移動・研修を伴うことが多いため、感染拡大につながらないよう留意が必要。併せて、カラオケに関係するクラスターが発生しており、改めてガイドラインの遵守の徹底に向けた働きかけが必要。
- 今後、再拡大の防止とともに次の波に備えた対応を行うことが重要。具体的には、①ワクチン接種の着実な推進、②変異株対策の強化、③感染リスクに応じた積極的な検査による早期探知や積極的疫学調査の再強化、飲食店及び高齢者施設対策の継続、感染拡大の兆しが見られた場合の機動的対応などの感染拡大防止策の推進、④新型コロナウイルスに対する医療を機動的に提供するための医療提供体制等の充実を確実に実施すること（引き続き必要な病床を確保するとともに、医療機関の役割分担の徹底や後方支援医療機関、退院患者を受け入れる施設等の確保等により実効的に病床を確保・活用し、一連の対応が目詰まり無く行われる体制の確保）などの取組が必要。

【変異株】

- N501Yに変異のある変異株については、その影響がより大きくなっていくことを踏まえ、その影響を抑えるための対応が必要。このため、先日示された変異株対策パッケージも踏まえ、①水際措置の強化の継続、②国内の変異株のサーベイランス体制の早急な強化（民間検査機関や大学等とも連携。国は自治体の検査数等を定期的に把握）、③変異株感染者の早期検知、積極的疫学調査による濃厚接触者および感染源の特定や速やかな拡大防止策、④変異株の感染性や病原性等の疫学情報についての評価・分析（N501Y変異以外のE484Kなどの変異を有する変異株についても実態把握を継続）と正確な情報の発信、⑤検体や臨床情報等の一体的収集・解析等の研究開発等の推進が必要。

直近の感染状況等 (1)

新規感染者数の動向 (対人口10万人(人))

検査体制の動向 (検査数、陽性者割合)

	2/25~3/3	3/4~3/10	3/11~3/17	2/22~2/28	3/1~3/7	3/8~3/14
全国	5.66人 (7,135人) ↓	5.91人 (7,455人) ↑	6.52人 (8,225人) ↑	299,132件 ↓ 2.4% ↓	322,618件 ↑ 2.2% ↓	333,137件 ↑ 2.4% ↑
北海道	5.09人 (267人) ↓	8.61人 (452人) ↑	8.06人 (423人) ↓	13,035件 ↓ 2.1% →	13,954件 ↑ 2.7% ↑	13,536件 ↓ 3.1% ↑
埼玉	9.36人 (688人) ↓	10.29人 (756人) ↑	11.44人 (841人) ↑	23,065件 ↓ 3.0% ↓	30,257件 ↑ 2.3% ↓	34,932件 ↑ 2.4% ↑
千葉	14.09人 (882人) ↓	11.60人 (726人) ↓	11.26人 (705人) ↓	16,531件 ↑ 5.0% ↓	20,615件 ↑ 4.1% ↓	20,700件 ↑ 3.5% ↓
東京	13.97人 (1,945人) ↓	13.33人 (1,856人) ↓	15.03人 (2,092人) ↑	60,909件 ↓ 3.2% ↓	58,226件 ↓ 3.1% ↓	70,433件 ↑ 2.8% ↓
神奈川	8.72人 (802人) ↑	8.52人 (784人) ↓	7.34人 (675人) ↓	23,431件 ↑ 3.5% ↓	28,446件 ↑ 2.7% ↓	21,071件 ↓ 3.4% ↑
岐阜	2.26人 (45人) ↓	1.61人 (32人) ↓	1.16人 (23人) ↓	4,260件 ↑ 1.2% ↓	4,523件 ↑ 1.1% ↓	3,382件 ↓ 0.6% ↓
愛知	3.79人 (286人) ↓	3.59人 (271人) ↓	3.84人 (290人) ↑	8,730件 ↓ 3.3% ↓	10,257件 ↑ 2.9% ↓	9,683件 ↓ 3.0% ↑
京都	1.47人 (38人) ↓	3.10人 (80人) ↑	2.67人 (69人) ↓	4,540件 ↓ 1.0% ↓	5,736件 ↑ 0.8% ↓	4,842件 ↓ 1.8% ↑
大阪	5.87人 (517人) ↓	6.11人 (538人) ↑	8.07人 (711人) ↑	22,487件 ↓ 2.3% ↓	29,460件 ↑ 1.9% ↓	34,057件 ↑ 1.9% →
兵庫	3.88人 (212人) ↑	3.73人 (204人) ↓	7.03人 (384人) ↑	7,821件 ↓ 2.1% ↓	9,606件 ↑ 2.3% ↑	9,769件 ↑ 3.0% ↑
福岡	4.27人 (218人) ↓	4.37人 (223人) ↑	4.62人 (236人) ↑	13,077件 ↓ 1.9% ↓	12,296件 ↓ 1.6% ↓	12,276件 ↓ 2.0% ↑
沖縄	7.85人 (114人) ↑	9.84人 (143人) ↑	13.70人 (199人) ↑	11,744件 ↑ 0.9% ↓	11,604件 ↓ 1.1% ↑	8,481件 ↓ 2.1% ↑

※ ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

直近の感染状況等 (2)

入院患者数の動向 (入院者数(対受入確保病床数))

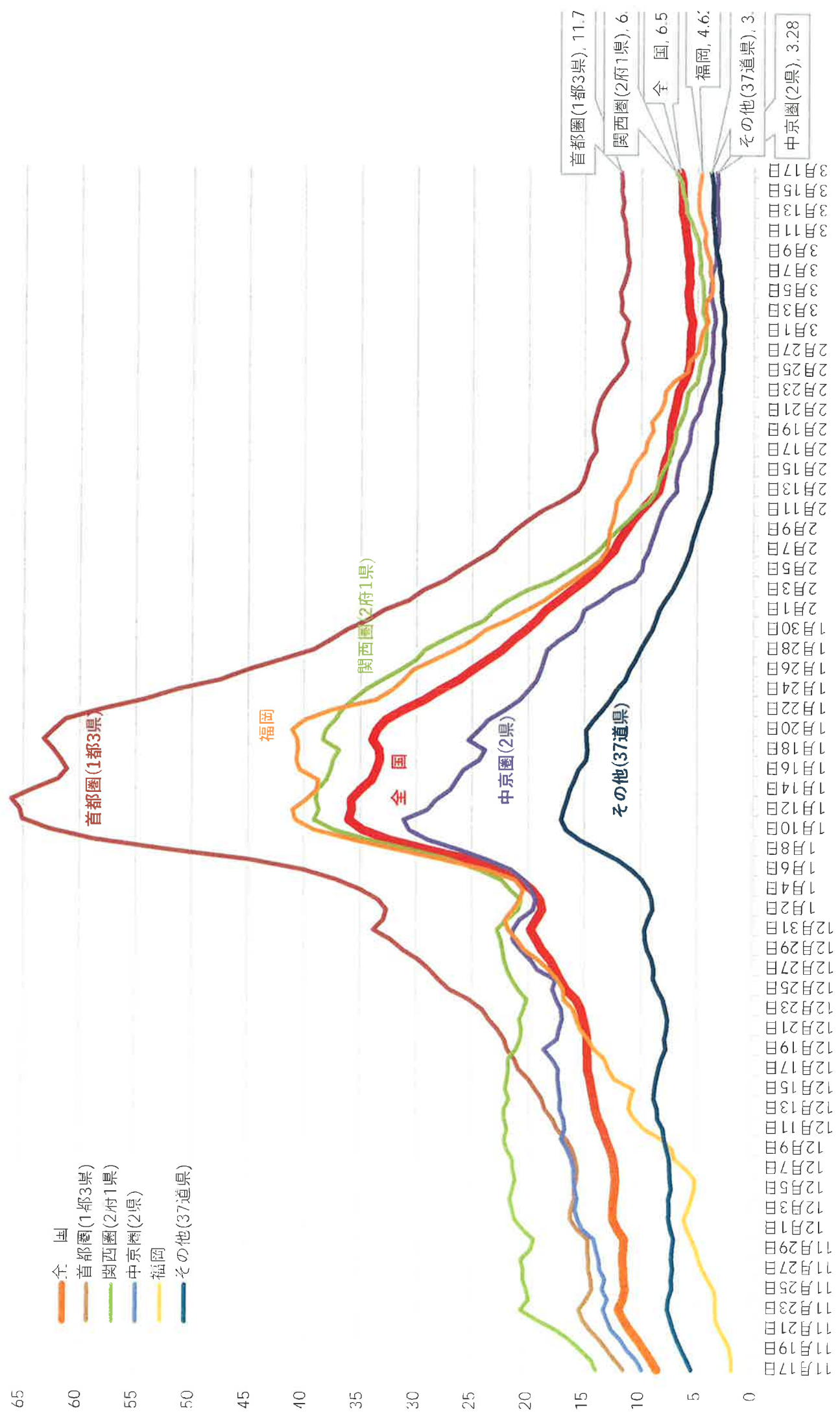
	2/24	3/3	3/10	2/24	3/3	3/10
全国	8,032人(26.8%) ↓	6,683人(22.2%) ↓	5,947人(19.7%) ↓	820人(19.8%) ↓	739人(17.8%) ↓	636人(15.2%) ↓
北海道	384人(21.0%) ↓	299人(16.0%) ↓	343人(18.4%) ↑	8人(5.0%) ↓	4人(2.5%) ↓	5人(3.1%) ↑
埼玉	741人(54.9%) ↓	616人(42.9%) ↓	604人(42.1%) ↓	36人(25.2%) ↓	40人(27.4%) ↑	41人(28.1%) ↑
千葉	646人(50.0%) ↓	643人(50.9%) ↓	554人(43.6%) ↓	21人(22.8%) ↓	28人(30.4%) ↑	22人(23.9%) ↓
東京	1,894人(37.9%) ↓	1,566人(31.3%) ↓	1,353人(26.8%) ↓	327人(32.7%) ↓	303人(30.3%) ↓	267人(26.1%) ↓
神奈川	493人(31.7%) ↓	447人(28.7%) ↓	412人(26.5%) ↓	32人(16.8%) ↓	27人(14.2%) ↓	29人(15.3%) ↑
岐阜	156人(22.5%) ↓	136人(19.6%) ↓	97人(14.0%) ↓	9人(15.3%) →	7人(11.9%) ↓	9人(15.3%) ↑
愛知	364人(30.0%) ↓	323人(26.6%) ↓	260人(21.4%) ↓	31人(24.6%) ↓	33人(26.2%) ↑	26人(20.6%) ↓
京都	124人(29.8%) ↓	70人(16.8%) ↓	42人(10.1%) ↓	15人(17.4%) ↓	10人(11.6%) ↓	9人(10.5%) ↓
大阪	685人(34.7%) ↓	541人(27.3%) ↓	448人(22.6%) ↓	156人(38.2%) ↓	135人(32.2%) ↓	108人(25.8%) ↓
兵庫	321人(38.3%) ↓	240人(28.6%) ↓	201人(24.0%) ↓	50人(43.1%) ↓	44人(37.9%) ↓	34人(29.3%) ↓
福岡	359人(47.0%) ↓	257人(33.6%) ↓	198人(25.7%) ↓	25人(22.5%) ↓	17人(15.3%) ↓	16人(14.4%) ↓
沖縄	185人(38.9%) ↓	179人(36.4%) ↓	157人(31.0%) ↓	17人(32.1%) ↓	26人(47.3%) ↑	23人(36.5%) ↓

重症者数の動向 (入院者数(対受入確保病床数))

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [圏域ごと]（対人口10万人） 2020/11/17 ~ 2021/3/17

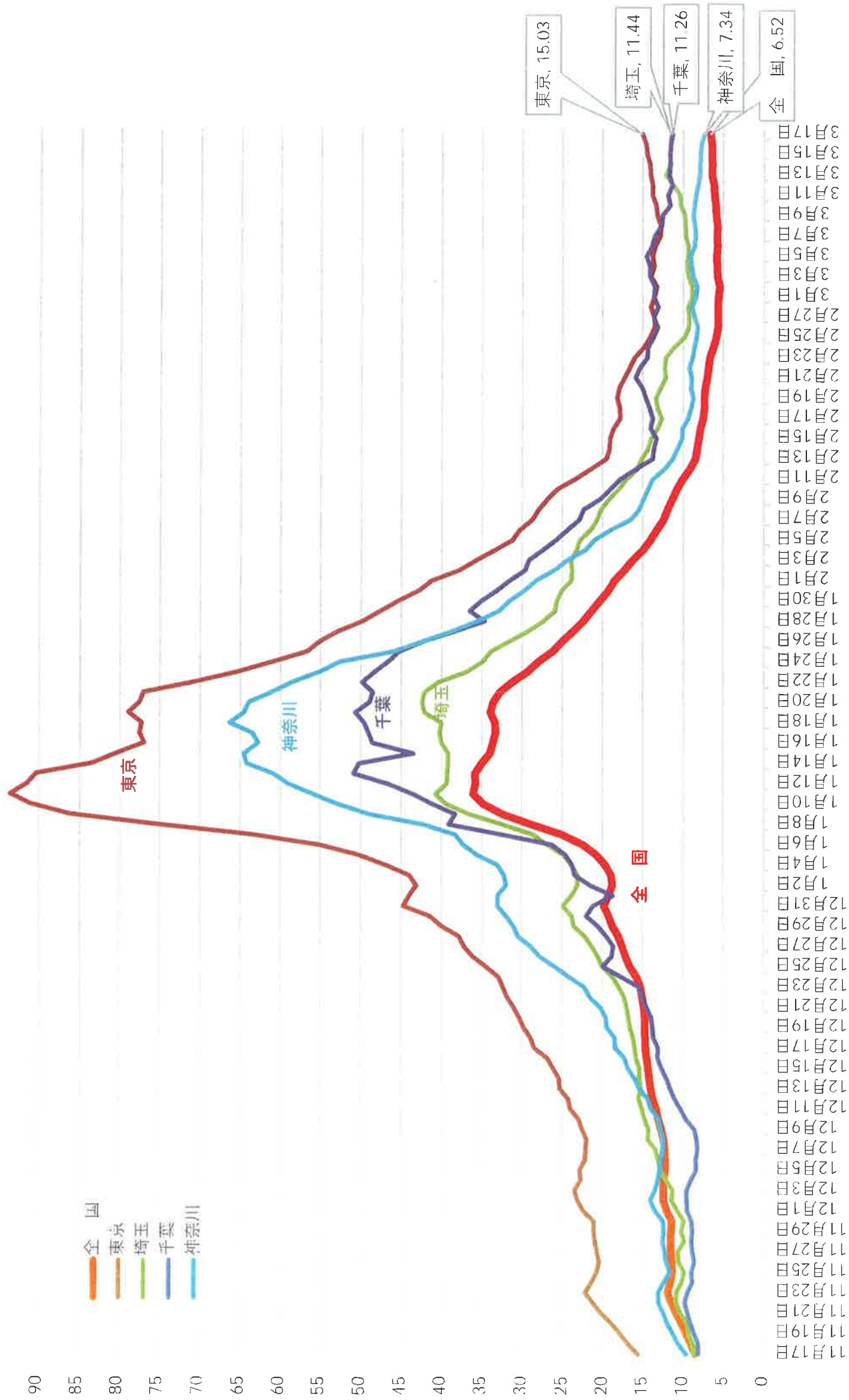
(人)



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [首都圏]（対人口10万人） 2020/11/17 ~ 2021/3/17

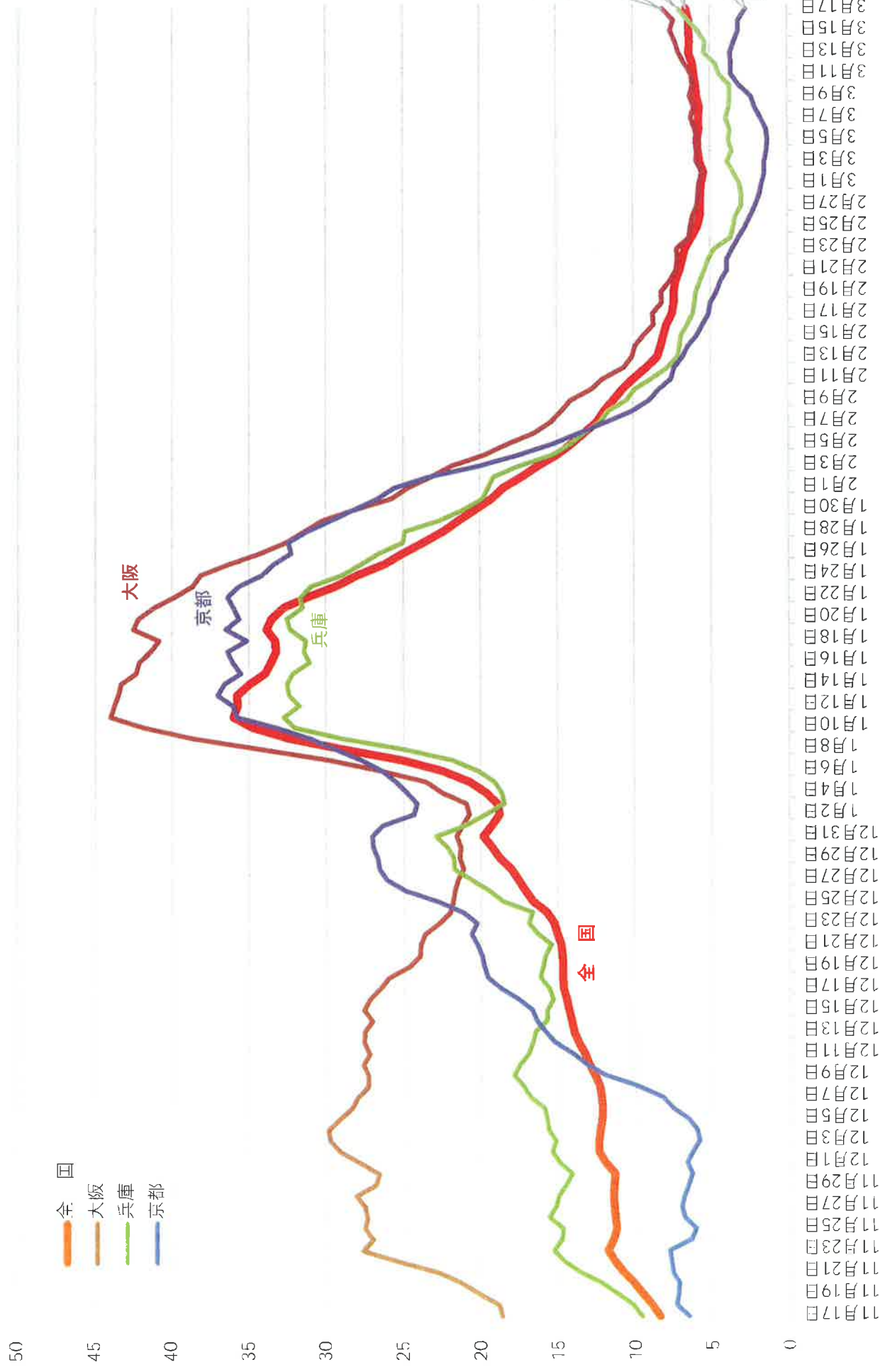
(人)



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [近畿]（対人口10万人） 2020/11/17 ~ 2021/3/17

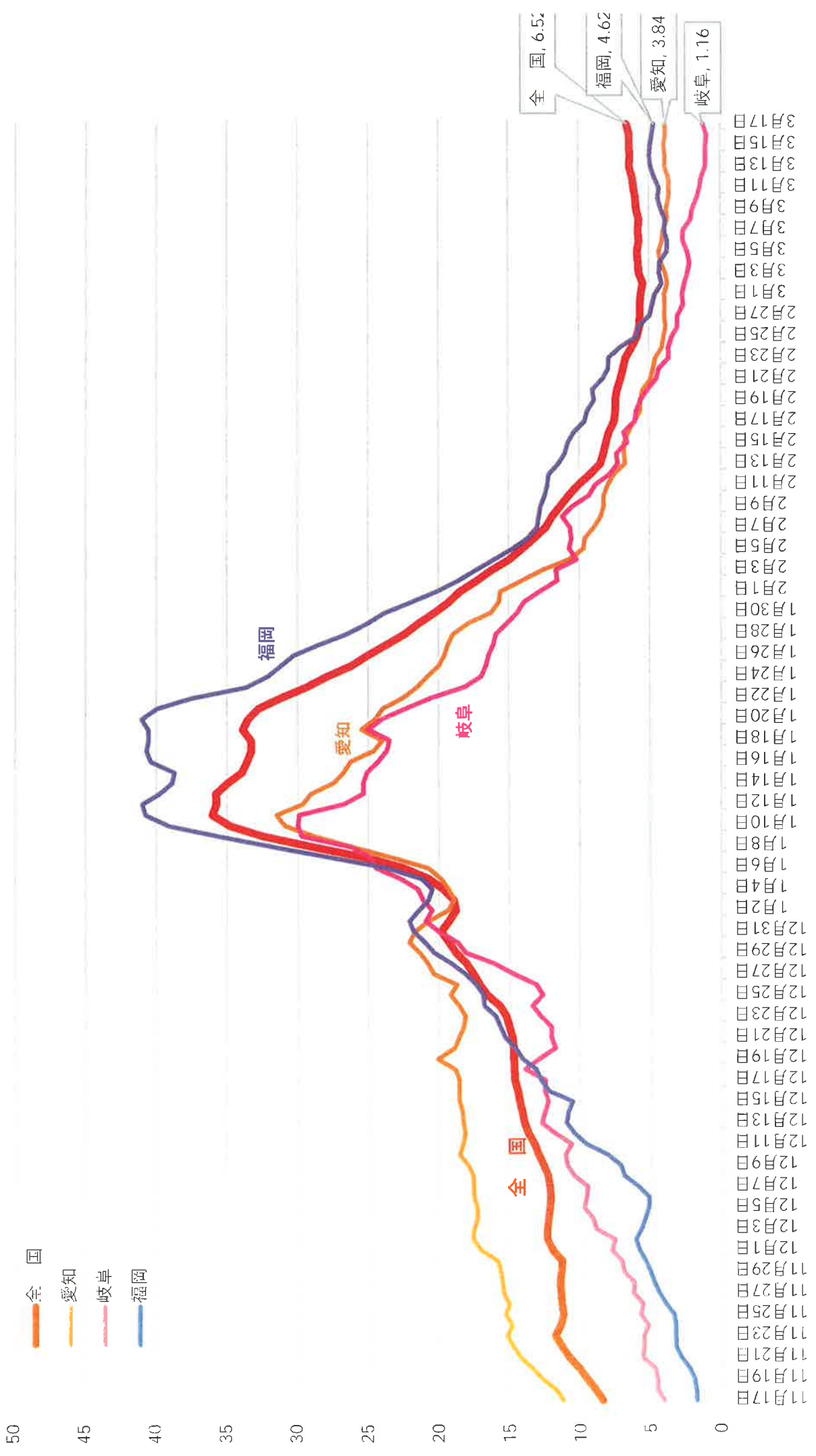
(人)



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

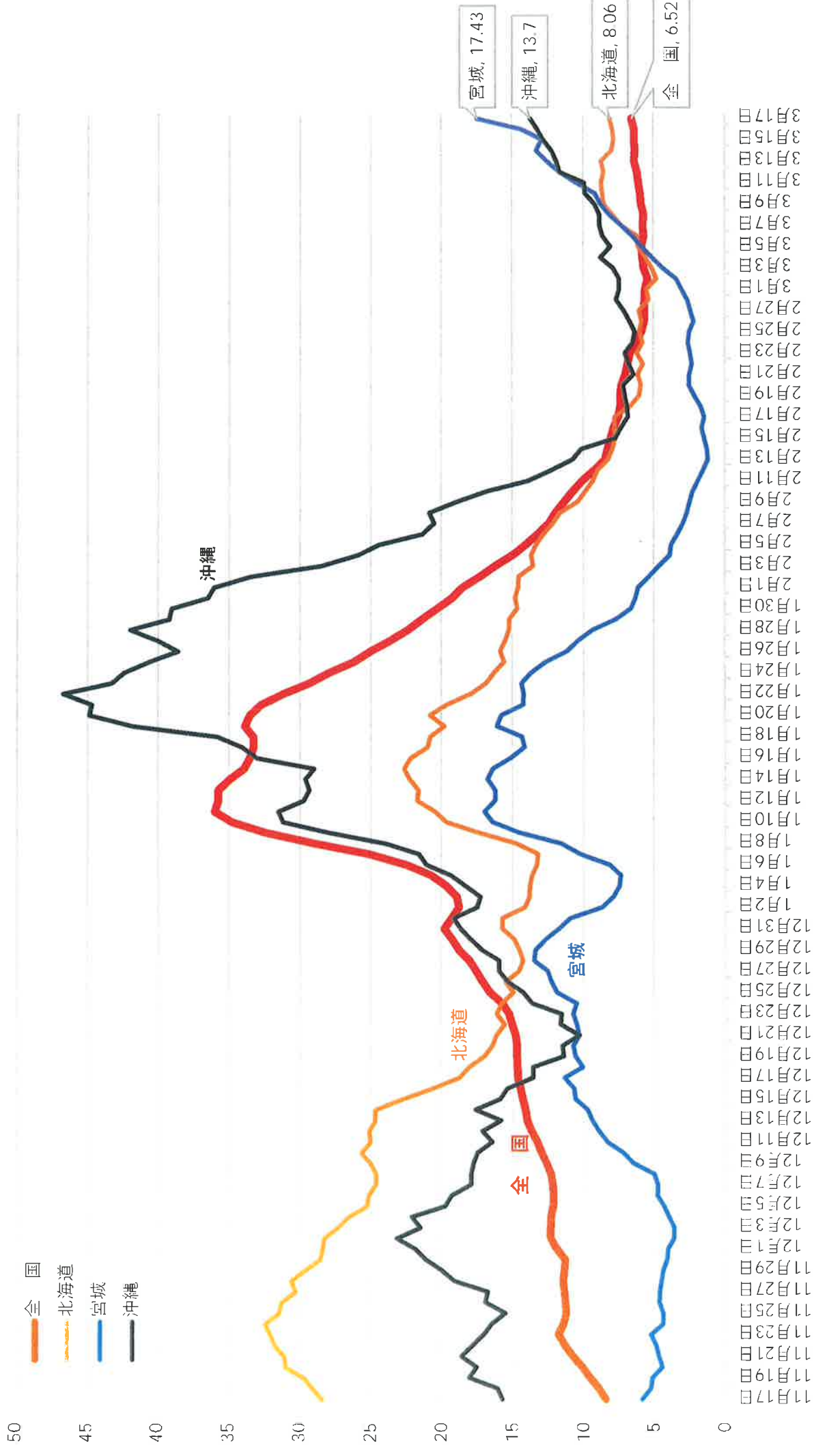
新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [中京・福岡]（対人口10万人） 2020/11/17 ~ 2021/3/17

(人)



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

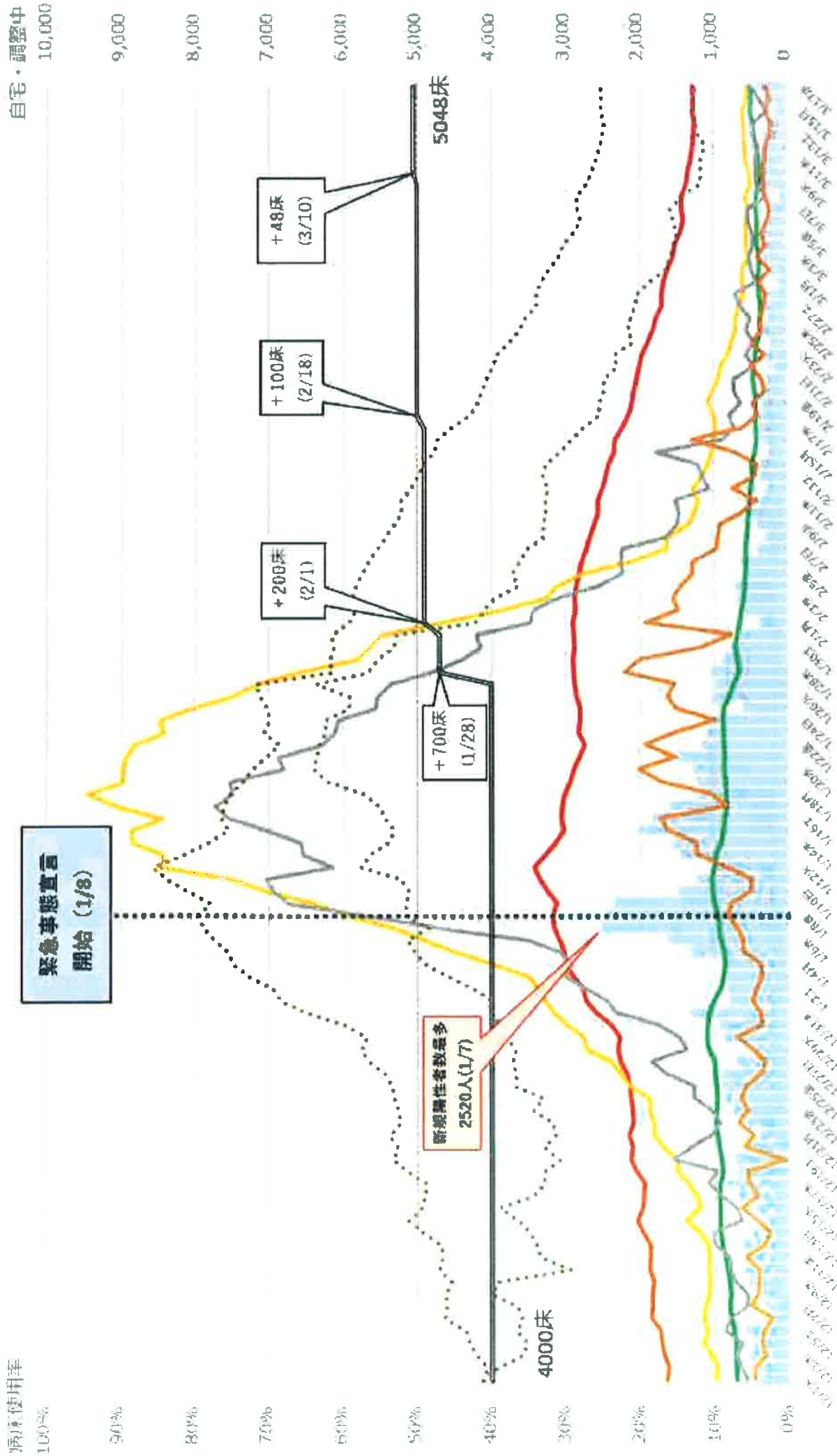
新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [その他]（対人口10万人） 2020/11/17 ~ 2021/3/17



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

東京都 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月17日)

入院・宿泊
自宅・調整中



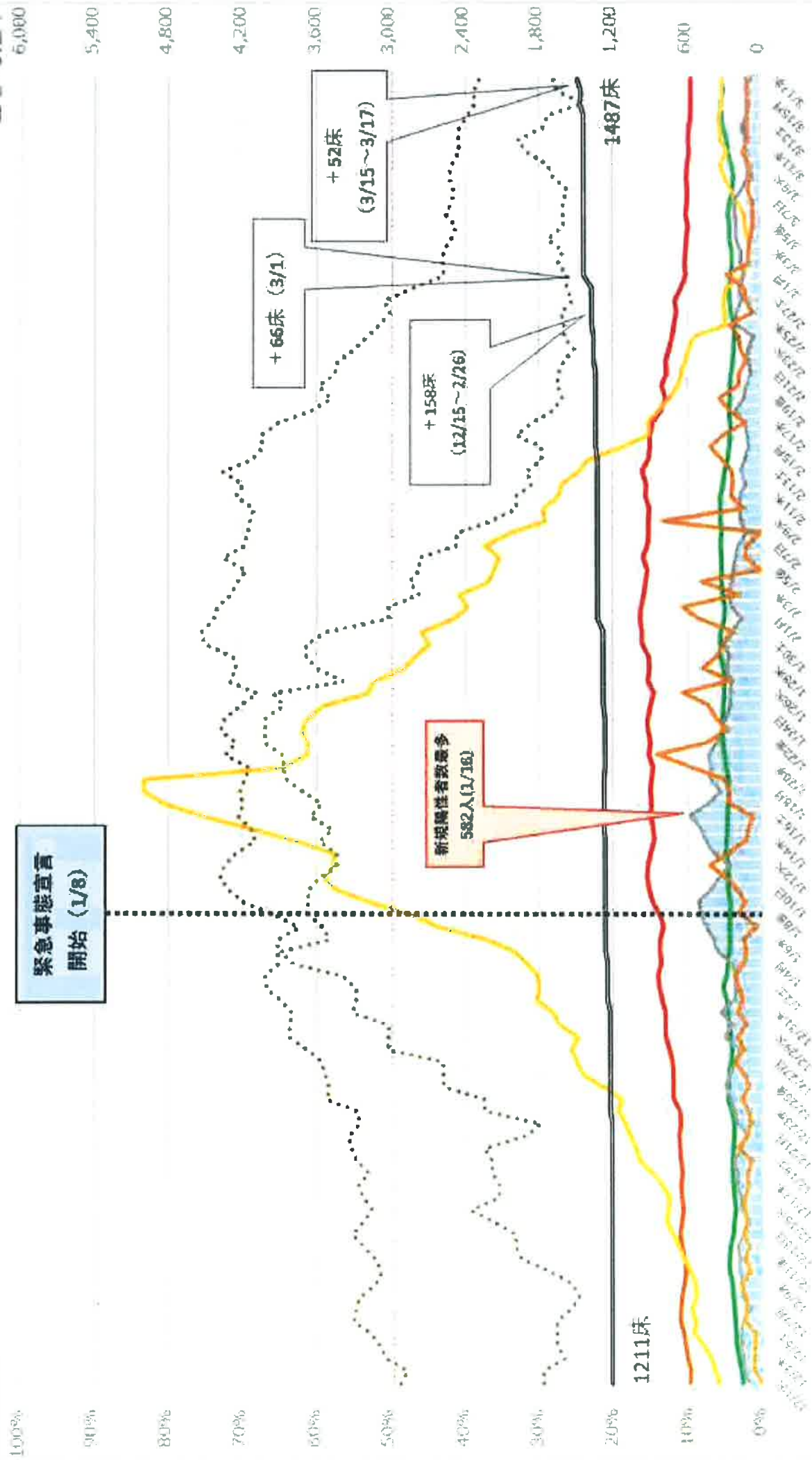
■ 新規陽性者 ■ 入院者数 ■ 宿泊療養者数 ■ 自宅療養者数 ■ 入院者調整中 ■ 退院者 ■ 確保病床 ■ 病床使用率 ■ 重症・病床使用率

※ 病床使用率は確保病床ベース (重症者用病床使用率は即応病床ベース)
 ※ 重症・病床使用率は、重症者数の分子である重症者数は、東京都独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室 (ICU) 等で管理が必要な患者は含まれない。

埼玉県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月17日)

入院・宿泊
自宅・調整中

病床利用率

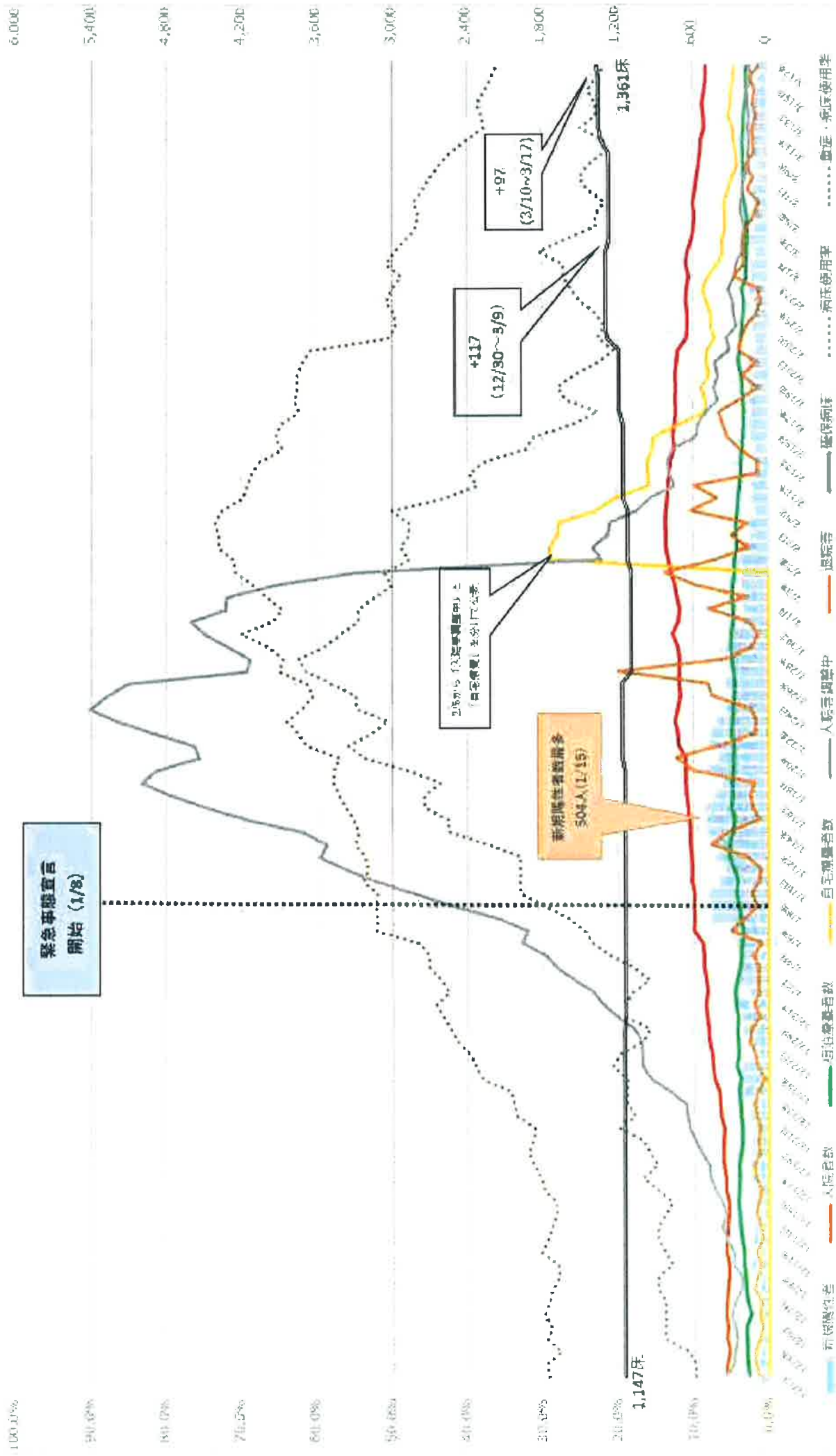


新規陽性者 入院者数 宿泊療養者数 自宅療養者数 入院等調整中 確保病床 病床利用率 重症・病床利用率
※病床利用率は確保病床へ対して

千葉県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月17日)

入院・宿泊
自宅・調剤中

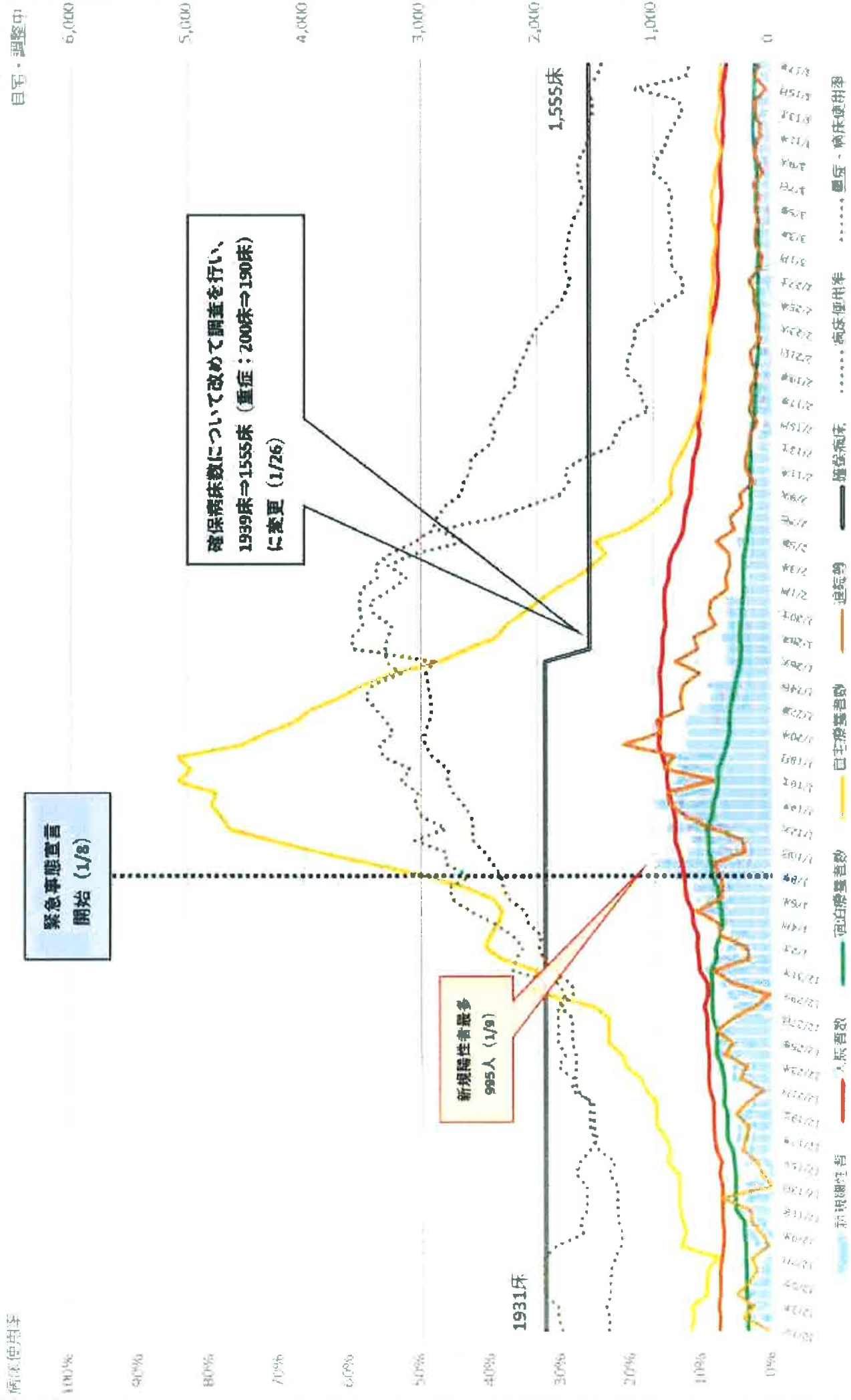
病床使用率



※ 病床使用率は重症病床への入

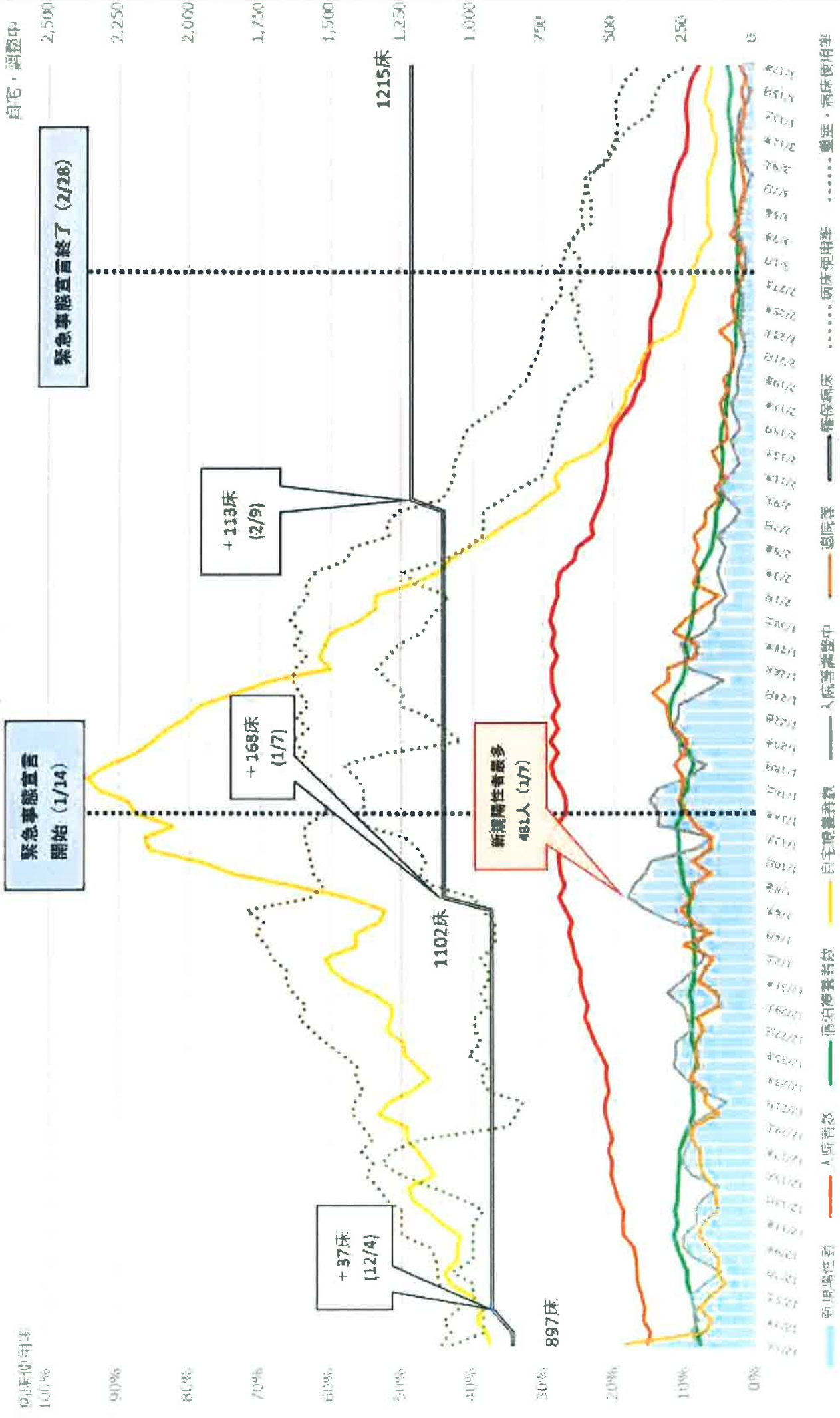
神奈川県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日~3月17日)

入院・宿泊
目録・調整中



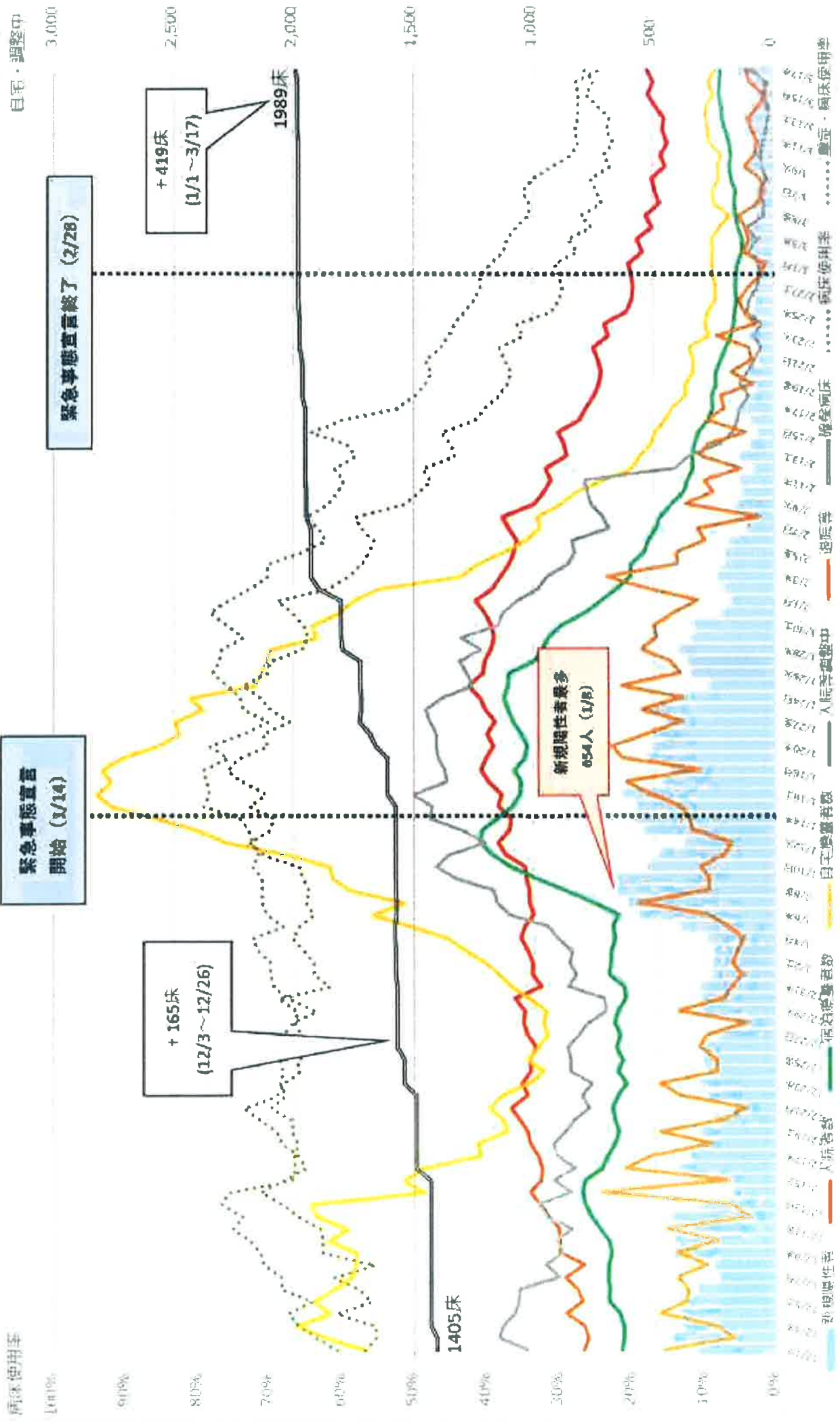
※ 病床使用率は確保病床ベース、早は入院等調整中の内訳を公表していない。

愛知県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月17日)



※ 病床使用率は確保病床ベース

大阪府 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月17日)



※ 病床使用率は病床高床へ入る
※ 重症・病床使用率の分子である重症患者数は、大阪府独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、ICU等で管理が必要な患者は含まれません。

福岡県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～3月16日)

